



2013年12月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

2013年11月7日

会社名 サントリーホールディングス株式会社 URL <http://www.suntory.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐治 信忠
 問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)濱岡 智 広報部 TEL (03)5579-1150
 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

1. 2013年12月期第3四半期の連結業績(2013年1月1日～2013年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年12月期第3四半期	1,504,183	9.6	89,422	17.3	84,855	17.9	183,626	605.9
2012年12月期第3四半期	1,372,495	-	76,250	-	71,942	-	26,012	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2013年12月期第3四半期	269	15	-	-
2012年12月期第3四半期	38	17	38	16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2013年12月期第3四半期	2,300,386	994,580	31.6
2012年12月期	1,727,963	533,697	29.4

(参考) 自己資本 2013年12月期第3四半期 727,204百万円 2012年12月期 507,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
2012年12月期	-	-	-	11	00	11	00
2013年12月期	-	-	-	-	-	-	-

3. 2013年12月期の連結業績予想(2013年1月1日～2013年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,020,000	9.1	126,000	16.9	122,000	18.4	199,000	443.2	291	69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ この四半期財務・業績の概況は、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は受けていません。

経営成績

1. 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間(2013年1月1日～2013年9月30日)の世界経済は、依然として、欧州債務問題等による景気の下振れリスクの懸念があるものの、緩やかな回復傾向が継続し、底堅さも見られました。わが国経済においても、円安・株高基調を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。

こうした中、サントリーグループは、「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「山崎」「白州」「角瓶」「BOSS」「伊右衛門」「サントリー天然水」といった主要ブランドのマーケティング活動の強化や、新たなカテゴリーの創出など、積極的な取り組みを展開しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1兆5,042億円(前年同期比109.6%)、営業利益894億円(同117.3%)、経常利益849億円(同117.9%)となりました。また、サントリー食品インターナショナル(株)の上場にもなう特別利益が発生し、四半期純利益は1,836億円(同705.9%)となりました。

〈飲料・食品セグメント〉

サントリー食品インターナショナル(株)は、ブランド強化を軸に需要の拡大を図りました。

国内事業では、重点ブランドでの新商品の投入やブランド横断型の消費者キャンペーン等により、事業規模の拡大と競争力の強化を図りました。

「BOSS」は、新商品「グランアロマ」を投入したほか、消費者キャンペーン等の販売促進活動を実施し、前年割れと推定される缶コーヒー市場の中で、前年同期を上回る販売数量を達成しました。「伊右衛門」ブランドは、積極的なマーケティング活動により「伊右衛門」「贅沢冷茶」の2本柱が好調で、販売数量が大きく伸長しました。「サントリー天然水」は、夏場の大幅な需要増に加え、「サントリー 南アルプスの天然水 スパークリング」を新発売しさらなるブランド力強化を図った結果、販売数量が大幅に伸長しました。「PEPSI」は、特定保健用食品「ペプシ スペシャル」をリニューアルしユーザー拡大を図った結果、販売数量が前年同期を大きく上回りました。「GREEN DA・KA・RA」は、夏場の熱中症対策飲料として支持をいただく等、販売数量が極めて大幅な伸びとなりました。

国際事業では、欧州、オセアニア、アジア、米州において、競合が激化する等、厳しい環境が続く中、各エリアでの重点ブランドの強化に取り組みしました。

欧州では、厳しい経済環境の中、オレンジナ・シュウェップス・グループが、「Orangina」「Schweppes」等で積極的なマーケティング投資を継続しブランドの強化を図った結果、販売数量が回復しつつあります。オセアニアでは、フルコア・グループが、重点ブランドであるエナジードリンク「V」の販売促進活動を強化しました。また、ニュージーランドにおける「PEPSI」等の好調な販売も寄与し、フルコア・グループ全体で販売数量を伸ばしました。アジアでは、セレボス・グループが、タイにおける健康食品販売を中心に堅調に推移しました。サントリーガルーダ・グループでは、ゼリードリンク「Okky」等が伸長したほか、サントリーブランドの「みらい」「MYTEA[ウーロン茶]」も売上増に寄与しました。ベトナムにおいても、同国内初となるサントリーブランド「TEA+[ウーロン茶]」を発売する等、着実に事業規模を拡大しました。米州では、Pepsi Bottling Ventures LLC が事業エリアの再編を実施し更なる事業基盤強化に取り組みしました。

なお、9月には、英国の象徴的なブランドである^{ルコゼード}「Lucozade」^{ライビーナ}「Ribena」の製造・販売事業を譲り受けることについて、英国グラクソ・スミスクライン社と合意しました。

その結果、飲料・食品セグメントの売上高は、8,320億円(前年同期比112.2%)となりました。

〈ビール・スピリッツセグメント〉

サントリー酒類(株)は、主要ブランドのマーケティング活動の強化に加え、“RTS^{※1}”など新価値商品のラインナップ強化等を行いました。

※1 RTS(Ready To Serve):氷を入れた状態で飲むのに最適な味わいのバランスに仕上げたアルコール度数10-20%のお酒

ビール事業は、5,193万ケース^{※2}(前年同期比103.1%)と過去最高の販売数量を達成しました。また、当社ビール類のシェアも、14.8%(課税数量ベース)で過去最高となりました。「ザ・プレミアム・モルツ」は、ブランド力の向上とお客様との接点拡大を推進した結果、1,237万ケース(前年同期比105.5%)となりました。新ジャンルでは、「金麦」が2,023万ケース(前年同期比105.3%)と伸長したほか、「金麦<糖質70%^{※3}オフ」が422万ケース(同147.3%)と、極めて好調に推移しました。そのほか、ノンアルコールビールテイスト飲料No.1ブランド^{※4}「オールフリー」も、526万ケース(前年同期比110.1%)と伸長しました。

※2 大瓶換算(1ケース=633ml×20本)・ノンアルコールビールテイスト飲料含む

※3 当社「金麦」比

※4 インタージェMAI調べ ノンアルコールビールテイスト飲料ブランド 累計販売金額
2012年1月~12月(全国スーパーマーケット/CVS/酒DS/一般・業務用酒店計)

スピリッツ事業は、積極的に価値提案を行った結果、前年同期比102%の売上となりました。

ウイスキーは、主要ブランドが好調に推移しました。「角瓶」は、食との相性訴求活動を強化し販売数量が前年同期比102%と伸長したほか、5月に発売した「プレミアム角瓶」が新たな需要を喚起しました。国産プレミアムウイスキーは、昨年発売した「山崎」「白州」や4月にリニューアルした「響12年」等が好調で、前年同期比118%と大きく伸長しました。1月に発売した「ジムビーム」は、新たなユーザーを獲得し、輸入ウイスキー市場の活性化に大きく寄与しました。また、世界的な酒類コンペティションで「響21年」がウイスキー部門最高賞を受賞するなど、海外における当社ウイスキーに対する評価がさらに高まりました。

RTDの販売数量は、前年同期比110%と大きく伸長しました。「-196℃ ストロングゼロ」は4月に発売した<DRY>が年間販売計画を上方修正するなど、極めて好調に推移し、前年同期比124%となりました。「ほろよい」は、新商品の積極的な投入などにより、前年同期比107%と好調に推移しました。当社ハイボール缶は前年同期比109%となり、市場を牽引しました。

“RTS”は、主要ブランド「ふんわり鏡月 アセロラ」「カクテルツアーズ」の年間販売計画を上方修正するなど好調に推移しました。

海外事業は、欧米を中心に「響」「山崎」「白州」ブランドの積極的なマーケティング活動を展開するなど、当社ウイスキーのさらなる浸透に取り組んだほか、アジアを中心とした「ザ・プレミアム・モルツ」の販売を強化しました。

その結果、ビール・スピリッツセグメントの売上高は、4,116億円(前年同期比103.0%)となりました。

〈その他セグメント〉

サントリー(中国)ホールディングス有限公司は、ビール事業では、チンタオピーチウゲーフェン青島啤酒股份有限公司との合弁会社が事業を開始し、飲料事業では、主要ブランド「烏龍茶」が大きく伸長するなど、前年同期比162%の売上となりました。

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業の販売数量は、前年同期比108%と大きく伸長しました。なかでも、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”が前年同期比124%、「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」が同149%と大幅に伸長しました。また「カルロ ロッシ」は、前年同期比107%と引き続き好調に推移しました。

サントリーウエルネス(株)は、「セサミン」シリーズや「グルコサミン&コンドロイチン」、スキンエファージュケア化粧品「F.A.G.E.」等が伸長し、前年同期比110%の売上となりました。

これらの結果、その他セグメントの売上高は、2,606億円(前年同期比112.8%)となりました。

なお、国内売上高は1兆1,268億円(前年同期比103.3%)、海外売上高は3,774億円(同133.9%)となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んでいます。また『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しています。

東日本大震災の復興支援活動は、「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「文化・スポーツを通じた支援」を柱に継続して実施しています。当第3四半期連結累計期間に、漁業支援のため15億円、子どもたちの支援のため10億円、合計で25億円の追加拠出を決定し、震災以降累計では88億円の拠出となります。

環境活動では、サントリー「天然水の森」において科学的な知見を取り入れながらより質の高い水源涵養活動を展開したほか、生産工程での省エネルギー活動や環境に配慮した容器包装の取り組みを推進しました。

2.通期の見通し

2013年12月期の売上高は、2兆200億円(前年同期比109.1%)、営業利益1,260億円(同116.9%)、経常利益1,220億円(同118.4%)、当期純利益1,990億円(同543.2%)を予定しています。

(2013年8月7日発表の業績予想から変更はありません。)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度 (2012年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間 (2013年9月30日現在)	増 減
		金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)				
I 流動資産		753,283	1,207,661	454,378
現金及び預金		228,128	642,916	414,788
受取手形及び売掛金		265,659	268,087	2,427
たな卸資産		183,728	220,026	36,298
その他		76,709	77,720	1,011
貸倒引当金		△942	△1,089	△147
II 固定資産		974,084	1,091,124	117,039
1.有形固定資産		420,228	479,159	58,930
建物及び構築物		129,909	141,325	11,415
機械装置及び運搬具		118,533	148,225	29,691
工具、器具及び備品		61,021	63,872	2,850
土地		85,964	93,397	7,432
その他		24,798	32,338	7,539
2.無形固定資産		380,531	423,677	43,146
のれん		354,632	375,907	21,274
その他		25,898	47,770	21,871
3.投資その他の資産		173,325	188,287	14,962
投資有価証券		97,083	112,597	15,514
その他		78,615	78,066	△549
貸倒引当金		△2,373	△2,375	△1
III 繰延資産		594	1,599	1,004
資産合計		1,727,963	2,300,386	572,423

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2012年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間 (2013年9月30日現在)	増 減
	金 額	金 額	金 額
(負 債 の 部)			
I 流動負債	572,794	717,652	144,857
支払手形及び買掛金	90,891	95,005	4,113
電子記録債務	93,001	122,523	29,521
短期借入金	91,995	101,292	9,297
1年内償還予定の社債	14,300	87,500	73,200
未払酒税	44,546	28,848	△15,698
未払消費税等	9,682	9,913	231
未払法人税等	12,056	23,305	11,248
未払金	100,575	114,466	13,891
未払費用	54,450	52,433	△2,017
賞与引当金	9,891	17,540	7,649
その他	51,403	64,822	13,419
II 固定負債	621,470	588,153	△33,317
社債	172,529	90,033	△82,495
長期借入金	318,021	336,038	18,016
退職給付引当金	11,151	11,115	△35
役員退職慰労引当金	351	275	△75
その他	119,417	150,689	31,272
負債合計	1,194,265	1,305,805	111,540
(純 資 産 の 部)			
I 株主資本	523,894	700,204	176,309
資本金	70,000	70,000	—
資本剰余金	△20,582	△20,582	—
利益剰余金	477,809	654,119	176,309
自己株式	△3,332	△3,332	—
II その他の包括利益累計額	△16,096	26,999	43,096
その他有価証券評価差額金	10,350	19,207	8,856
繰延ヘッジ損益	1,902	867	△1,034
為替換算調整勘定	△28,349	6,924	35,274
III 少数株主持分	25,900	267,376	241,476
純資産合計	533,697	994,580	460,882
負債純資産合計	1,727,963	2,300,386	572,423

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増 減
	〔 自 2012年 1月 1日 〕 〔 至 2012年 9月30日 〕	〔 自 2013年 1月 1日 〕 〔 至 2013年 9月30日 〕	
	金 額	金 額	金 額
I 売 上 高	1,372,495	1,504,183	131,687
II 売 上 原 価	678,873	741,088	62,214
売 上 総 利 益	693,621	763,094	69,472
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	617,370	673,672	56,301
営 業 利 益	76,250	89,422	13,171
IV 営 業 外 収 益	3,407	3,989	581
受 取 利 息	691	715	24
受 取 配 当 金	1,339	1,486	147
補 助 金 収 入	—	554	554
雑 収 入	1,377	1,232	△144
V 営 業 外 費 用	7,715	8,556	841
支 払 利 息	6,252	6,249	△3
為 替 差 損	463	882	419
雑 支 出	999	1,424	424
経 常 利 益	71,942	84,855	12,912
VI 特 別 利 益	1,069	180,414	179,344
受 取 保 険 金	—	1,049	1,049
組 織 再 編 益	—	2,281	2,281
持 分 変 動 利 益	56	131,383	131,327
関 係 会 社 株 式 売 却 益	—	45,490	45,490
受 取 補 償 金	260	—	△260
そ の 他	752	209	△542
VII 特 別 損 失	8,568	7,382	△1,185
固 定 資 産 廃 棄 損	3,238	2,518	△719
震 災 関 連 費 用	2,850	2,223	△627
組 織 再 編 関 連 費 用	431	2,151	1,719
そ の 他	2,048	489	△1,558
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	64,444	257,886	193,442
法 人 税 等	33,199	62,501	29,302
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益	31,244	195,385	164,140
少 数 株 主 利 益	5,232	11,758	6,525
四 半 期 純 利 益	26,012	183,626	157,614

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は持株会社制を導入し、持株会社である当社の下、製品・サービス別の事業分野別に事業会社等を設置しています。各事業会社等は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業会社等を中心とした製品・サービス別のセグメントから構成され、「飲料・食品事業」、「ビール・スピリッツ事業」の2つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品・サービスの種類は以下のとおりです。

飲料・食品…………… 清涼飲料、健康飲料、加工食品 他
 ビール・スピリッツ…………… ビール類、ウイスキー、焼酎、RTD 他
 その他…………… 中国事業、ワイン、健康食品、アイスクリーム、外食、スポーツ、花 他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	741,729	399,828	230,936	1,372,495	—	1,372,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,017	1,873	8,911	15,802	△ 15,802	—
計	746,746	401,702	239,848	1,388,297	△ 15,802	1,372,495
セグメント利益	57,296	20,250	21,135	98,682	△ 22,431	76,250

当第3四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	831,985	411,630	260,567	1,504,183	—	1,504,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,172	2,593	8,278	16,044	△ 16,044	—
計	837,157	414,223	268,845	1,520,227	△ 16,044	1,504,183
セグメント利益	66,328	23,557	22,957	112,844	△ 23,421	89,422

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、当社において発生するグループ管理費用です。それぞれの金額は次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間	
セグメント利益の調整額	△ 22,431 百万円
各報告セグメントに配分していない全社費用	△ 22,490 百万円
セグメント間取引消去	59 百万円
当第3四半期連結累計期間	
セグメント利益の調整額	△ 23,421 百万円
各報告セグメントに配分していない全社費用	△ 23,473 百万円
セグメント間取引消去	52 百万円

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。